

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第22号）のトピックス

- 16週(4月18日～24日)のインフルエンザ患者報告数は 2,253人、
定点当たり 5.43人（昨年同期 定点当たり 0.09人）
- 14道県でインフルエンザ定点当たり患者報告数10人を超える
- 第16週における東京都の流行規模は、全国で35位
- AH1 pdm09株の抗インフルエンザ薬耐性遺伝子検査について

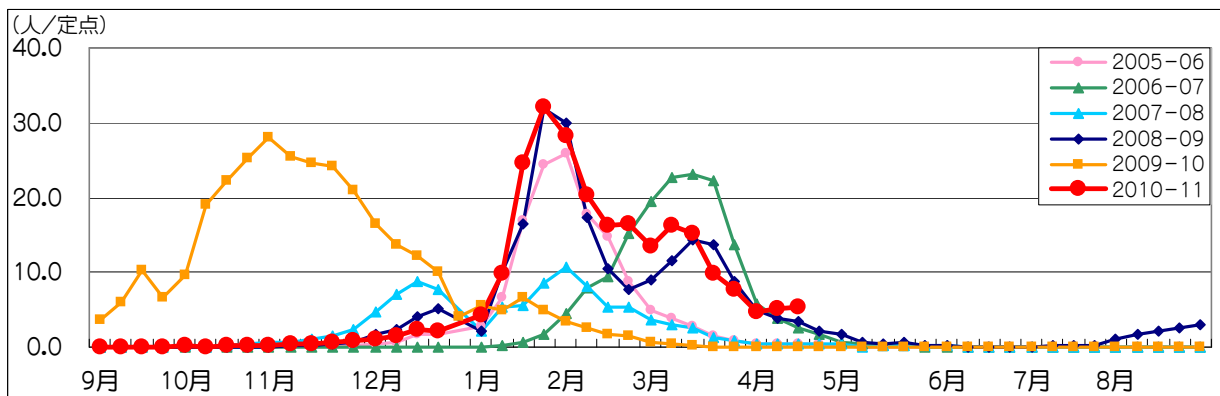
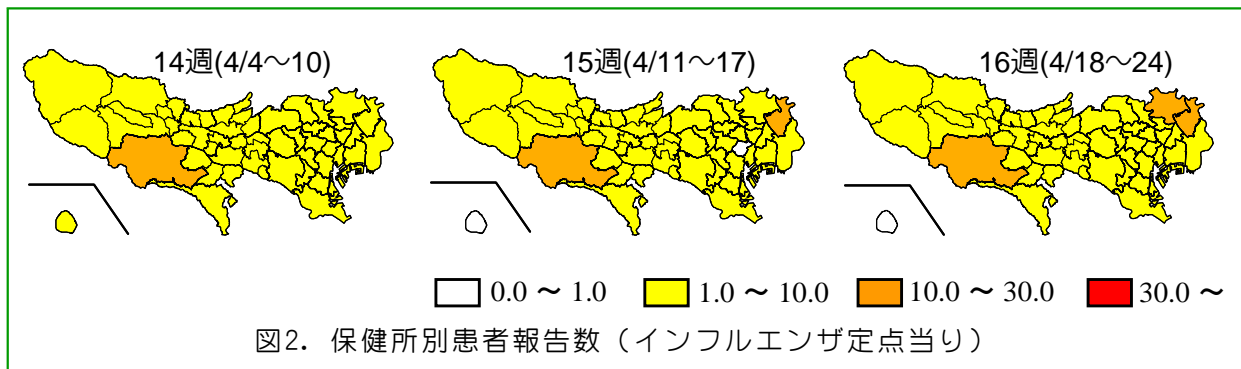


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移（東京都）



1 インフルエンザ患者発生状況

第16週（4月18日～24日）

【東京都】インフルエンザ定点*からの患者報告数は2,253人、定点当たり5.43人となり、2週続けて定点当たり報告数が増加しています（図1）。足立(13.45人/定点)、八王子市(12.89人/定点)、葛飾区(11.62人/定点)の3保健所管内で定点当たりの患者報告数が10人を超えています（図2）。

【全国】患者報告数は 36,993人、定点当たり

7.56人です。全国も2週続けて定点当たり患者報告数が増加しています。長野(25.51人/定点)、宮崎(22.80人/定点)、福井(19.47人/定点)をはじめとする14道県では定点当たり報告数が10人を超えています。東京(5.43人/定点)の流行規模は、全国で35番目になっています（図3）。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点264か所を含む419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています(1週から定点が増えました)。

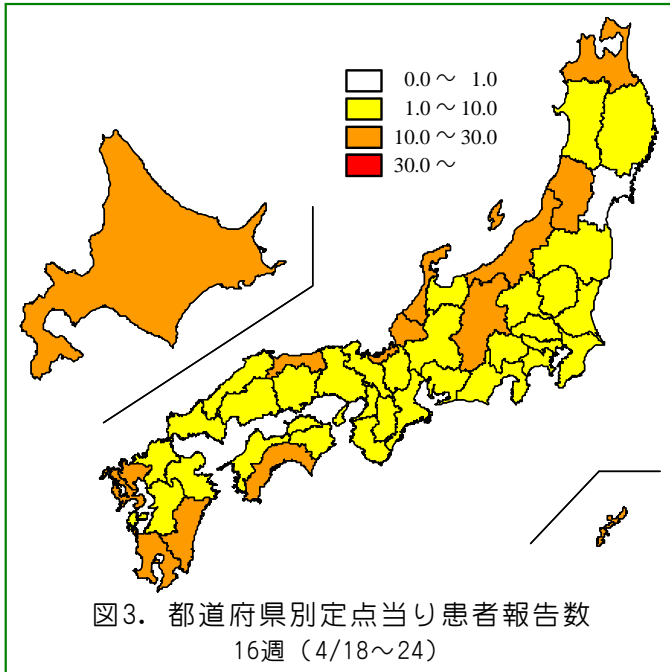


表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	AH1pdm09
36-11週(9/6-4/20)	974	401	0	158	45	197
12週(3/21-27)	31	26	0	14	12	0
13週(3/28-4/3)	16	6	0	3	3	0
14週(4/4-10)	30	15	0	2	12	1
15週(4/11-17)	32	16	0	5	9	2
合計			0	182	81	200

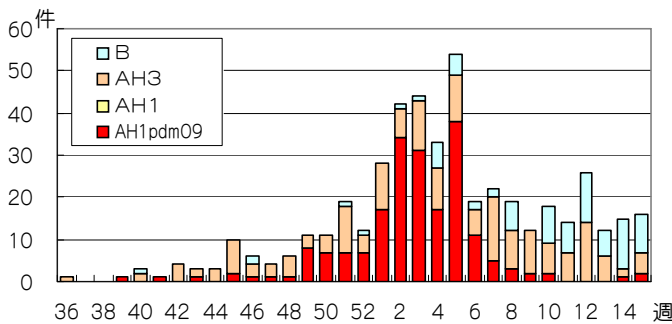


図4. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

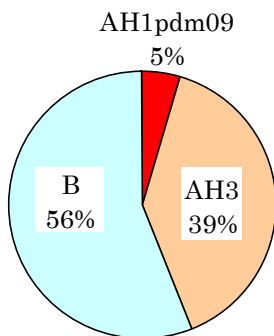


図5. 型別検出割合
直近4週間
(12~15週、センター
に搬入された全検体
のうち陽性となった
64件の内訳)

2 インフルエンザ集団感染等発生状況

16週にインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例が60件(内訳; 幼稚園・保育園4、小学校52、中学校3、高校1)報告されました。

16週にはインフルエンザと診断され重症化した患者の報告はありませんでした。

3 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から、15週にAH1pdm09型が2件、AH3亜型(A香港型)が5件、B型が9件検出されました(表1、図4)。

12週から15週の直近4週間(3月21日~4月17日)に検出されたウイルスの型別検出割合をみるとB型が56%と最も多くなっています(図5)。

今シーズン、当センターに搬入された検体から分離されたAH1pdm09**株123株に対して、抗インフルエンザ薬***に対する耐性マーカー遺伝子の解析を行ったところ、2株から耐性遺伝子が検出されました。

** : AH1pdm09

2011年4月1日から、新型インフルエンザ(AH1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とします。

*** : 抗インフルエンザ薬

現在使用されている抗インフルエンザ薬(カッコ内は商品名):オセルタミビル(タミフル)、ザナミビル(リレンザ)、ペラミビル(ラビアクタ)、ラニナミビル(イナビル)。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/